

平成23年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東天紅
 コード番号 8181 URL <http://www.totenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 小泉 和久
 (氏名) 山崎 信行

TEL 03-3828-6272

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	1,835	△1.2	88	905.8	78	—	79	—
22年2月期第1四半期	1,857	—	8	—	△1	—	6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	3.08	—
22年2月期第1四半期	0.25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	13,356	9,554	71.5	371.84
22年2月期	13,646	9,483	69.5	369.06

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 9,554百万円 22年2月期 9,483百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,300	△1.5	△30	—	△50	—	△60	—	△2.33
通期	7,200	0.3	120	—	80	—	60	—	2.33

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	25,728,716株	22年2月期	25,728,716株
② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	34,142株	22年2月期	33,110株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	23年2月期第1四半期	25,694,965株	22年2月期第1四半期	25,697,497株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果などにより、一部に回復の兆しは見られたものの、設備投資の抑制や雇用情勢の不安から、個人消費の低迷が続く厳しい状況で推移いたしました。

当社は、こうした状況のもとで、「選択と集中による赤字脱却」を目指して諸活動に取り組んでまいりました。

まず、旗艦店舗である「上野店」をはじめ、全店舗においてセールスを徹底的に実施し、宴会売上を確保してまいりました。また、これに加え、県人会、同窓会、趣味の会など個人宴会の獲得にも力を注いでまいりました。

次に、「LUCIS (ルーキス)」「Coeur et Coeur (クーレクール)」「LA VIE CLAIR (ラ ヴィ クレール)」などの婚礼や婚礼二次会の売上強化を図ってまいりました。

一方、食の『安全・安心』の提供に配慮し、衛生管理・危機管理体制のさらなる強化を図ると共に、あらゆるコストをゼロベースで見直し、コスト削減に努めてまいりました。

なお、「ホテルグランヴィア広島店」は平成22年3月に閉鎖いたしました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は前期の店舗閉鎖もあり、前年同四半期比1.2%減の18億3,500万円となりましたが、既存店売上高は前年同四半期比4.5%増となりました。また、「LUCIS」をはじめとする婚礼部門が前年同四半期比127.6%と業績を伸ばし、宴会部門におきましても回復傾向となりました。加えて、前期からの不採算店閉鎖やコスト削減効果もあり、営業利益は前年同四半期比905.8%増の8,823万円、経常利益は7,831万円（前年同四半期は経常損失141万円）、四半期純利益は7,906万円（前年同四半期は四半期純利益643万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前年度末に比べ2億8,962万円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が借入金の返済を行ったものの、四半期純利益の増加及び差入保証金の返還等により7,554万円増加した結果、流動資産は前年度末に比べ7,472万円増加となり、固定資産は有形固定資産の償却及び差入保証金の返還等により3億6,434万円減少したことなどによります。

負債は、前年度末に比べ3億6,068万円減少いたしました。

これは主に、借入金の返済による2億3,050万円の減少、未払金は前期末に店舗改装費用を計上していたこと等により1億1,948万円減少したことなどによります。

純資産は、前年度末に比べ7,106万円増加いたしました。

これは主に、四半期純利益7,906万円の計上、その他有価証券評価差額金が785万円減少したことなどによります。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期及び通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化が認められないことから、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,311	580,765
売掛金	259,194	256,817
商品及び製品	8,100	7,894
原材料及び貯蔵品	64,378	60,394
その他	106,924	114,310
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,094,609	1,019,882
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,794,449	1,836,282
土地	7,897,291	7,897,291
その他(純額)	408,341	440,610
有形固定資産合計	10,100,082	10,174,185
無形固定資産	54,478	58,771
投資その他の資産		
差入保証金	1,781,948	1,979,679
投資有価証券	219,912	236,122
その他	106,406	178,415
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,107,667	2,393,617
固定資産合計	12,262,227	12,626,574
資産合計	13,356,837	13,646,457

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,864	161,567
短期借入金	1,258,775	1,394,200
リース債務	20,179	20,729
未払法人税等	12,380	41,310
賞与引当金	121,000	78,588
その他	361,607	490,642
流動負債合計	1,932,806	2,187,037
固定負債		
長期借入金	689,100	784,175
リース債務	53,885	58,701
繰延税金負債	35,326	40,693
再評価に係る繰延税金負債	400,622	400,622
退職給付引当金	458,980	456,675
長期未払金	154,893	156,893
その他	77,005	78,509
固定負債合計	1,869,812	1,976,270
負債合計	3,802,619	4,163,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	1,182,695	1,103,629
自己株式	△8,198	△8,053
株主資本合計	10,308,277	10,229,355
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,684	59,537
土地再評価差額金	△805,742	△805,742
評価・換算差額等合計	△754,058	△746,205
純資産合計	9,554,218	9,483,149
負債純資産合計	13,356,837	13,646,457

(2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	1,857,713	1,835,000
売上原価	837,080	829,681
売上総利益	1,020,632	1,005,319
販売費及び一般管理費	1,011,859	917,082
営業利益	8,773	88,236
営業外収益		
受取利息	0	0
未回収商品券受入益	625	531
受取保険料	1,187	1,186
その他	901	1,211
営業外収益合計	2,713	2,929
営業外費用		
支払利息	10,539	12,037
その他	2,360	813
営業外費用合計	12,900	12,851
経常利益又は経常損失(△)	△1,413	78,314
特別利益		
投資有価証券売却益	11,420	3,698
特別利益合計	11,420	3,698
特別損失		
固定資産除却損	178	23
店舗閉鎖損失	—	775
特別損失合計	178	798
税引前四半期純利益	9,829	81,215
法人税、住民税及び事業税	3,398	2,149
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,398	2,149
四半期純利益	6,431	79,066

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	9,829	81,215
減価償却費	88,624	79,823
賞与引当金の増減額(△は減少)	47,966	42,411
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,307	2,304
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	10,539	12,037
固定資産除却損	61	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△11,420	△3,698
売上債権の増減額(△は増加)	△44,196	△2,376
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,421	△4,189
仕入債務の増減額(△は減少)	37,177	△2,702
未払金の増減額(△は減少)	△11,143	△62,785
その他	27,305	△25,012
小計	152,858	117,027
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△11,571	△12,060
法人税等の支払額	△21,095	△20,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	120,191	84,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,110	△45,999
投資有価証券の売却による収入	23,562	6,827
差入保証金の差入による支出	△480	—
差入保証金の回収による収入	1,512	266,570
その他	△454	1,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,029	228,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△6,869
短期借入金の純増減額(△は減少)	90,000	△120,000
長期借入金の返済による支出	△96,500	△110,500
自己株式の取得による支出	△66	△144
配当金の支払額	△79	△1
その他	△2,100	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,745	△237,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	126,475	75,546
現金及び現金同等物の期首残高	371,642	580,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	498,117	656,311

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

当第1四半期累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）

業 態 別	当第1四半期会計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)	前年同四半期比 (%)
中 国 料 理 (千円)	1,661,679	98.5
日 本 料 理 (千円)	141,833	102.9
そ の 他 (千円)	31,488	93.4
合 計 (千円)	1,835,000	98.8